

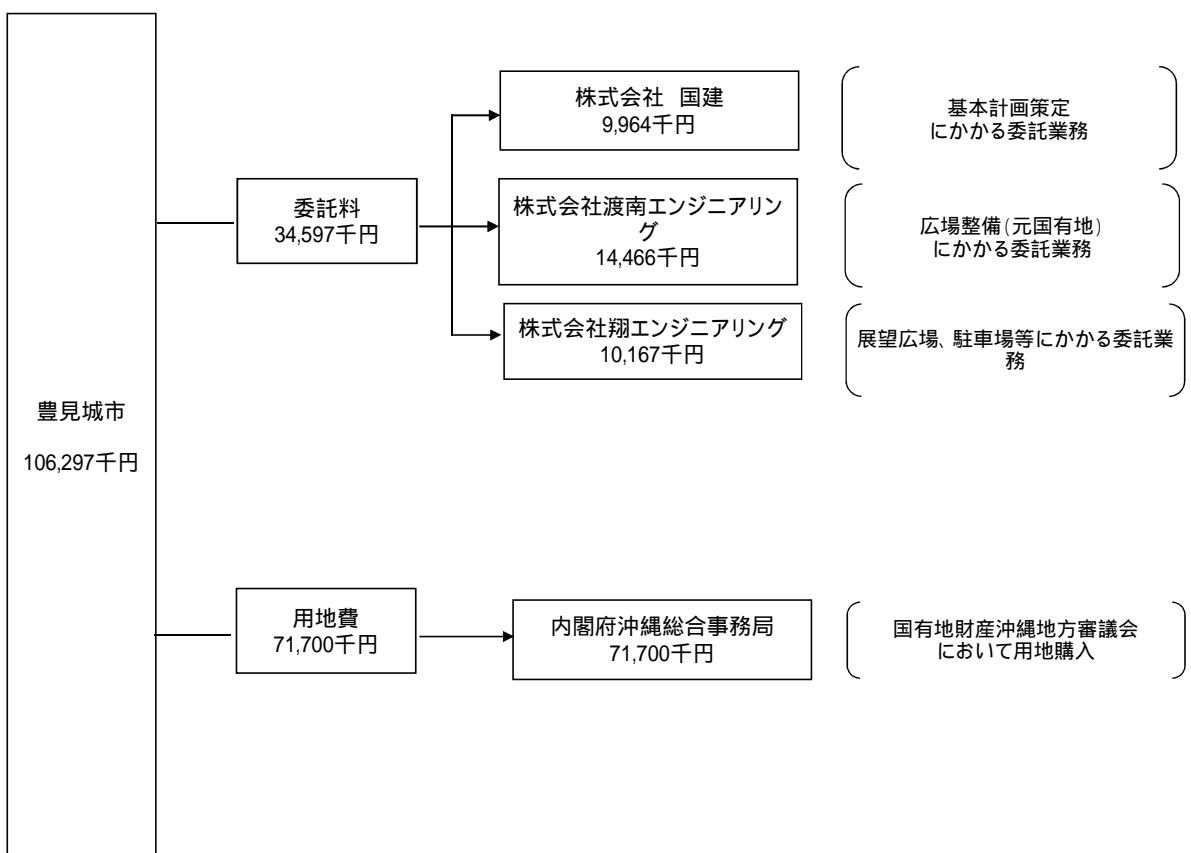
市町村名	豊見城市						
平成24年度(繰越)沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号 ・事業名	1-	瀬長島観光拠点整備事業			沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第3章 - 3 - (2) - ウ 世界水準の観光リゾート地の形成	
担当部課名	都市計画部 振興開発課		事業実施 (予定)年度	平成24~28年度	沖縄振興基本方針 該当箇所	- 1 - (1)	
事業内容	<p>瀬長島は、本市発祥の地であり、歴史のある風光明媚な島であることから、多くの県民に親しまれている。組踊り「手水の縁」の舞台の島でもあり、歴史的な物語が残る文化資源も豊富な島もある。</p> <p>また、那覇空港からも近く観光のシンボル拠点として格好の立地であることを活かし、民間企業において整備を進めている温泉宿泊施設と島の持つ自然環境や歴史文化と調和を図りながら、沖縄県の玄関口である那覇空港に近接した立地条件を活かした観光地としてふさわしい整備計画を策定する。</p>						
実施方法	直接実施 委託 補助 負担 その他 ()						
予算額・ 執行額 【単位:千円】 (「交付金」+ 「市町村負担」 ベース)		24年度	24年度(繰越)	25年度	26年度	27年度	
	予算の状況	(a)当初予算額	174,443	-			
		(b)予算現額	151,250	-			
		(c)増減額(b-a)	23,193	-			
		(d)繰越額	-	141,276			
		A.計(b+d)	151,250	141,276			
		B.執行済額	9,964	96,333			
		うち交付金充当額	7,972	77,066			
		次年度繰越額	141,276				
		執行率(%) (B/A)	6.6%	68.2%			
予算の状況の説明	<p>・H24年度(繰越)の工事費(37,688千円)において、整備前の地盤改良工事を計画していたが、実施設計において土質調査の結果、工事費が不要となった。また、用地費等で、7,255千円の不要額が生じているが、不動産鑑定価格の減によるものであり達成状況を鑑みて適正であったと考えている。</p> <p>・繰越理由について 用地取得において国有財産沖縄地方審議会が年度内開催が出来なくなり、年度内に用地取得が困難となつたため。 整備計画の策定に当たり、有識者を含んだ検討委員会において、当初予定していた整備内容等について変更・追加の意見があり調整に不測の日数を要したため、年度内の実施設計の発注が困難となった。</p>						
活動目標 (指標) 及び達成状況	H24活動目標(指標)		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	瀬長島観光拠点整備計画の策定、国有地取得、施設の実施設計・整備		目標	基本計画策定、(用地取得、実施設計・整備)	()	()	()
			実績	基本計画策定、用地取得、実施設計			
			目標	()	()	()	()
達成状況説明	<p>平成24年度に「瀬長島観光拠点整備計画」を策定。平成24年度(繰越)において、実施設計、国有地の用地取得。平成24年度(繰越)の工事費(37,688千円)において、整備前の地盤改良工事を計画していたが、実施設計において土質調査の結果、工事費が不要となった。</p>						
成果目標 (指標) 及び進捗状況	H24成果目標(指標)		基準値 (23年度)	24年度	25年度	26年度	目標値 (年度)
	瀬長島観光拠点整備計画の策定、国有地取得、施設の実施設計・整備		目標	()	基本計画策定、(用地取得、実施設計・整備)	()	()
			実績		基本計画策定、用地取得、実施設計		
	[参考指標]		目標	()	()	()	()
			実績				
進捗状況説明	<p>平成24年度繰越において実施設計を実施済み。また、国有財産沖縄地方審議会において国有地(9,282.86m²)を用地取得。平成24年度(繰越)の工事費(37,688千円)において、整備前の地盤改良工事を計画していたが、実施設計において土質調査の結果、工事費が不要となった。</p>						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>・豊見城市瀬長島は、豊かな自然、歴史・文化資源を有しているが、周辺整備など十分でないことにから、これら多彩な観光資源の利便性を向上するため、利用方法を検討するとともに観光振興に取り組む関係団体等と連携し、市全体で更なる観光振興と誘客を図ることが重要であった。</p> <p>・観光拠点の整備を実現するため、必要な施設並びに設備、サービスなど瀬長島の全体のあり方について、専門家及び地元関係者から組織された検討委員会を設置し、「瀬長島観光拠点整備計画」を平成24年度に策定。</p>	整備計画によって決定された基本計画を踏まえつつ、実施設計において技術的、経済的判定により、工事に必要な詳細構造を経済的かつ合理的に設計を検討する。

今後の取り組み方針

瀬長島観光拠点の整備を実現するため、実施設計の成果を基に、多目的広場(西海岸テラスゾーン、自然海浜ゾーン)、屋外トイレ建築、展望広場、避難路設置(遊歩道)、新規駐車場、旧市道154号線道路等の整備を実施し、島全体の利便性の向上を図る。また、子宝岩復元、無電柱化、案内サイン看板の設置、リーフレット作成も今後実施して行く予定である。また、整備後は、各施設と連携した管理・運営の検討を図る。

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)				
	総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金
	106,297	106,297	85,038	21,259



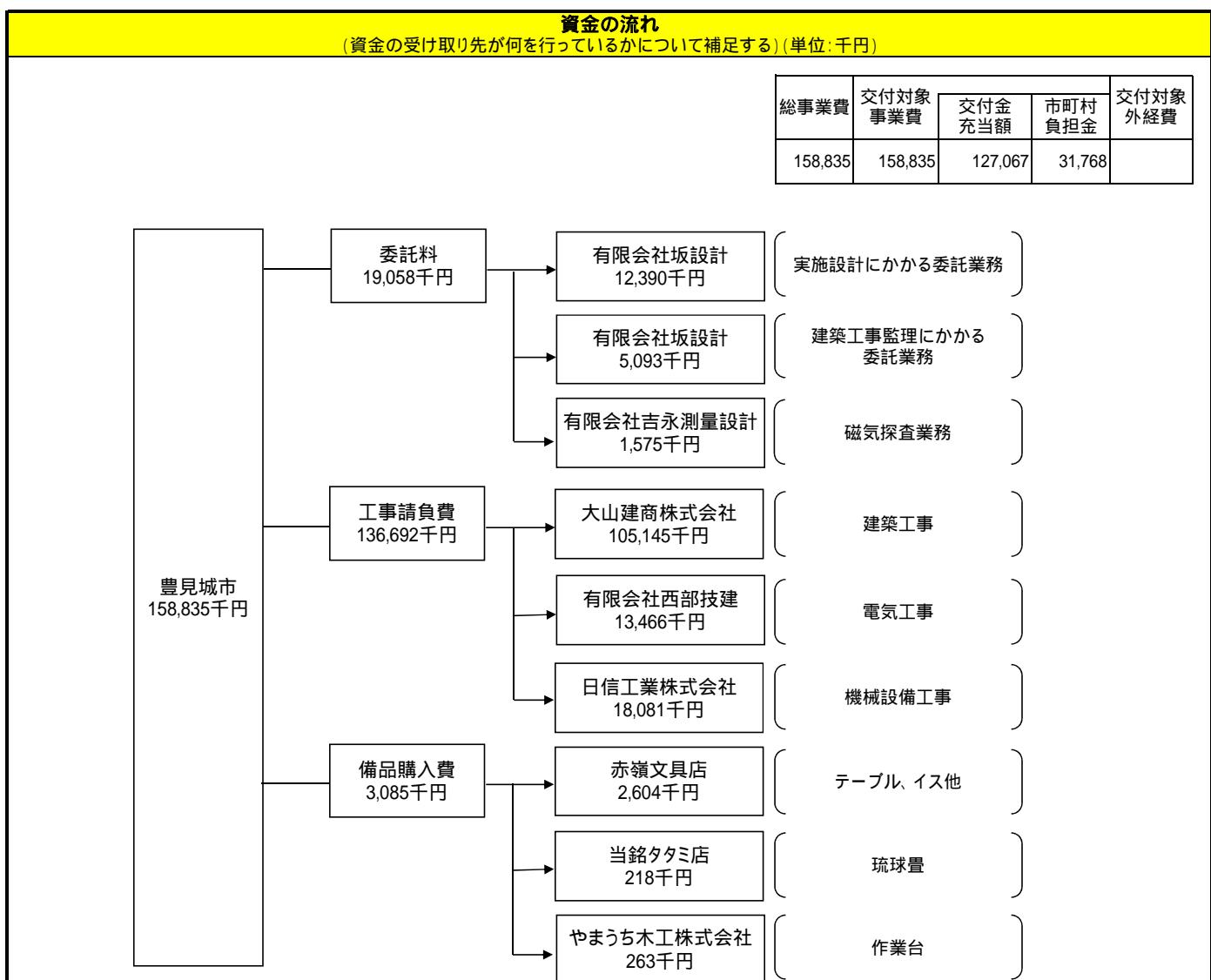
資金途の流れ検査評価項目	評価	点検項目		評価に関する説明
	支出先の選定方法は妥当か。			委託事業者は、本市指名員会で選定した業者を指名競争入札方式に附して入札を執行しており、妥当だったと考える。
	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。			費用・使途については、本市で策定した「瀬長島観光拠点整備基本計画」に基づき、事業を実施しており、適正である。
-	受益者との負担関係は妥当であるか。			
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。			

市町村名	豊見城市						
平成24年度(繰越)沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号 ・事業名	1-	体験事業受入施設及び産業振興施設整備事業			沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第3章 - 3 - (2) - ウ 世界水準の観光リゾート地の形成	
担当部課名	企画部商工観光課		事業実施 (予定)年度	平成24年度	沖縄振興基本方針 該当箇所	- 1 - (1)	
事業内容	体験事業受入施設及び産業振興施設を設置し、市内事業所が実施する体験事業を本施設に集積することにより、観光客や修学旅行の受入拠点とともに観光・産業振興を図る。						
実施方法	直接実施 委託 補助 負担 その他 ()						
予算額・ 執行額 【単位:千円】 (「交付金」+ 「市町村負担」 ベース)		24年度	24年度(繰越)	25年度	26年度	27年度	
	予算の状況	(a)当初予算額	169,902	-			
		(b)予算現額	169,903	-			
		(c)増減額(b-a)	1	-			
		(d)繰越額	-	103,136			
		A.計(b+d)	169,903	103,136			
		B.執行済額	66,748	92,087			
		うち交付金充当額	53,398	73,669			
		次年度繰越額	103,136				
		執行率(%) (B/A)	39.3%	89.3%			
予算の状況の説明	体験事業実施事業者などの施設利用関連事業所のヒアリングを行ったところ、作業効率化のため施設の規模、施設内の配置位置、取付設備について、施設規模増を伴う配置変更等の要望があり、当初予定していなかった設計、施設構造の再検討、調整を行うために不測の日数を要したため、繰越とした。不用額が11,049千円生じているが、工事請負費等の入札残及び備品購入費の減によるもので、達成状況を鑑みて適正であったと考えている。						
活動目標 (指標) 及び達成状況	H24活動目標(指標)		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	体験事業受入施設及び産業振興施設の整備		目標 (施設の整備) () () () ()				
			実績 施設の整備				
			目標 () () () () ()				
			実績				
達成状況説明	平成25年度に繰越を行い、施設を完成、供用開始した。						
成果目標 (指標) 及び進捗状況	H24成果目標(指標)		基準値 (年度)	24年度	25年度	26年度	目標値 (年度)
	体験事業受入施設及び産業振興施設の整備		目標 () (施設の整備) () () ()				
	[参考指標]		実績 施設の整備				
			目標 () () () () ()				
			実績				
	進捗状況説明	平成25年度に繰越を行い、施設を完成、供用開始し、観光客に対し情報発信、物販、体験教室などを行っている。 平成25年度中(7月~3月)の来場者は、44,461人に上り、豊見城の観光情報の発信に効果を上げている。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<ul style="list-style-type: none"> ・平屋鉄骨造という比較的簡易な構造物という理由から、事業費圧縮を狙い、基本設計を実施せずに、実施設計から発注したため、実施設計作業中に詳細な調整が発生し、作業に遅れが生じた。 ・消費税増税前の建設需要増加により、鉄骨等の資材確保に時間を要した。 ・市の総括的な観光情報発信団体である豊見城市観光協会が指定管理者となり、市を代表する工芸品である豊見城市ウージ染め協同組合が入居し、展示、物販、体験教室等を行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・実施設計業務の前に、施設の機能、役割、概略規模等を検討する「基本構想」、建物の概要等を検討する「基本設計」を行うことで、より計画的な進捗を図る。 ・道の駅豊崎構内にある他施設との連携によるイベントの実施。

今後の取り組み方針

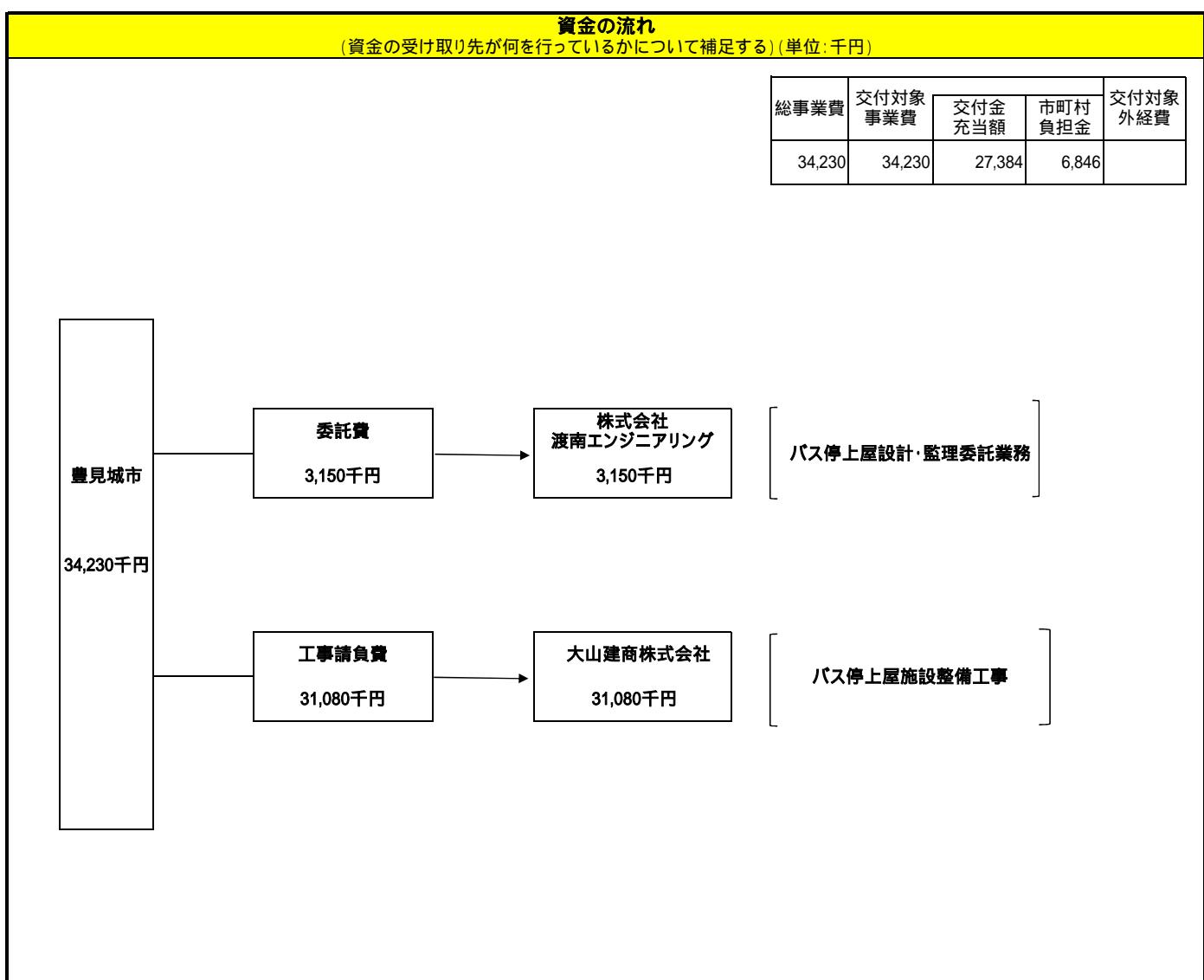
- ・府内関係部課長で組織する「施設建設基本構想策定委員会」において、施設の機能、役割、概略規模等を検討し、その後、基本設計業務を委託発注する。
 ・道の駅豊崎構内にある他施設との連携により、効果的なイベントを実施し、来場者のさらなる増加を図る。また、豊崎周辺にある観光資源等を組み合わせた観光メニューの開発を検討する。
 ・修学旅行等の団体客をターゲットとした体験メニューの開発やプロモーション活動の実施。



資金途の流れ 点れ 評費 値目	評価	点検項目	評価に関する説明
		支出先の選定方法は妥当か。	
		予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	契約については、原則、指名競争入札を実施した。 関係機関とのヒアリングを行い、必要最小限度の規模の施設を建設した。
-		受益者との負担関係は妥当であるか。	施設設置条例を制定し、使用料を徴収している。
		費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	費目・使途については、十分に精査を行っている。

市町村名	豊見城市						
平成24年度(繰越)沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号 ・事業名	1-	バス停上屋整備事業			沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-ウ 世界水準の観光リゾート地の形成	
担当部課名	市民健康部 協働のまち推進課		事業実施 (予定)年度	平成24年度	沖縄振興基本方針 該当箇所	-1-(1)	
事業内容	豊見城市字豊崎地区など豊見城市内一周線の路線上に豊見城市らしい装飾を付したバス停上屋を設置し、亜熱帯特有の日差しや紫外線などを防ぎ、心地よく公共交通を利用していただくとともに観光地にふさわしい景観を形成するために整備を行う。						
実施方法	直接実施 委託 補助 負担 その他 ()						
予算額・ 執行額 【単位:千円】 (「交付金」+ 「市町村負担」 ベース)		24年度	24年度(繰越)	25年度	26年度	27年度	
	予算の状況	(a)当初予算額	35,638	-			
		(b)予算現額	35,638	-			
		(c)増減額(b-a)		-			
		(d)繰越額	-	35,638			
		A.計(b+d)	35,638	35,638			
		B.執行済額		34,230			
		うち交付金充当額		27,384			
		次年度繰越額		35,638			
		執行率(%) (B/A)		96.0%			
予算の状況の説明	バス停上屋設置整備にあたり、整備予定区域の将来のバス停増減の可能性に伴う整備箇所数やバス運行の妨げにならない上屋のレイアウトについて、バス停管理・バス運行をおこなうバス事業者との調整に不測の日数を要したため繰り越しとなった。 不要額が1,408千円発生している理由としては、バス停上屋整備数が8基から7基へ変更となったことや入札残によるものである。						
活動目標 (指標) 及び達成状況	H24活動目標(指標)		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	市内西海岸地域におけるバス停上屋整備数		目標 (8基)	()	()	()	
			実績 7基				
			目標 ()	()	()	()	
			実績				
達成状況説明	市内西海岸地域のバス停である豊崎入口・アウトレットモールあしひなー前・道の駅豊崎・豊崎美らSUNビーチ前4地点の往復8地点にバス停上屋を設置する計画であったが、アウトレットモールあしひなー前片側については、平成21年度に運輸事業振興助成交付金事業を活用して(社)沖縄バス協会がバス停上屋を整備済みのため1基の実施は見送った。						
成果目標 (指標) 及び進捗状況	H24成果目標(指標)		基準値 (年度)	24年度	25年度	26年度	目標値 (年度)
	バス停上屋整備数		目標 ()	(8基)	()	()	()
			実績	7基			
	【参考指標】		目標 ()	()	()	()	()
			実績				
	進捗状況説明	アウトレットモールあしひなー前バス停の一か所が平成21年度に(社)沖縄バス協会により上屋付バス停として整備済で今回も整備を見送ったため、7基の整備を行った。					

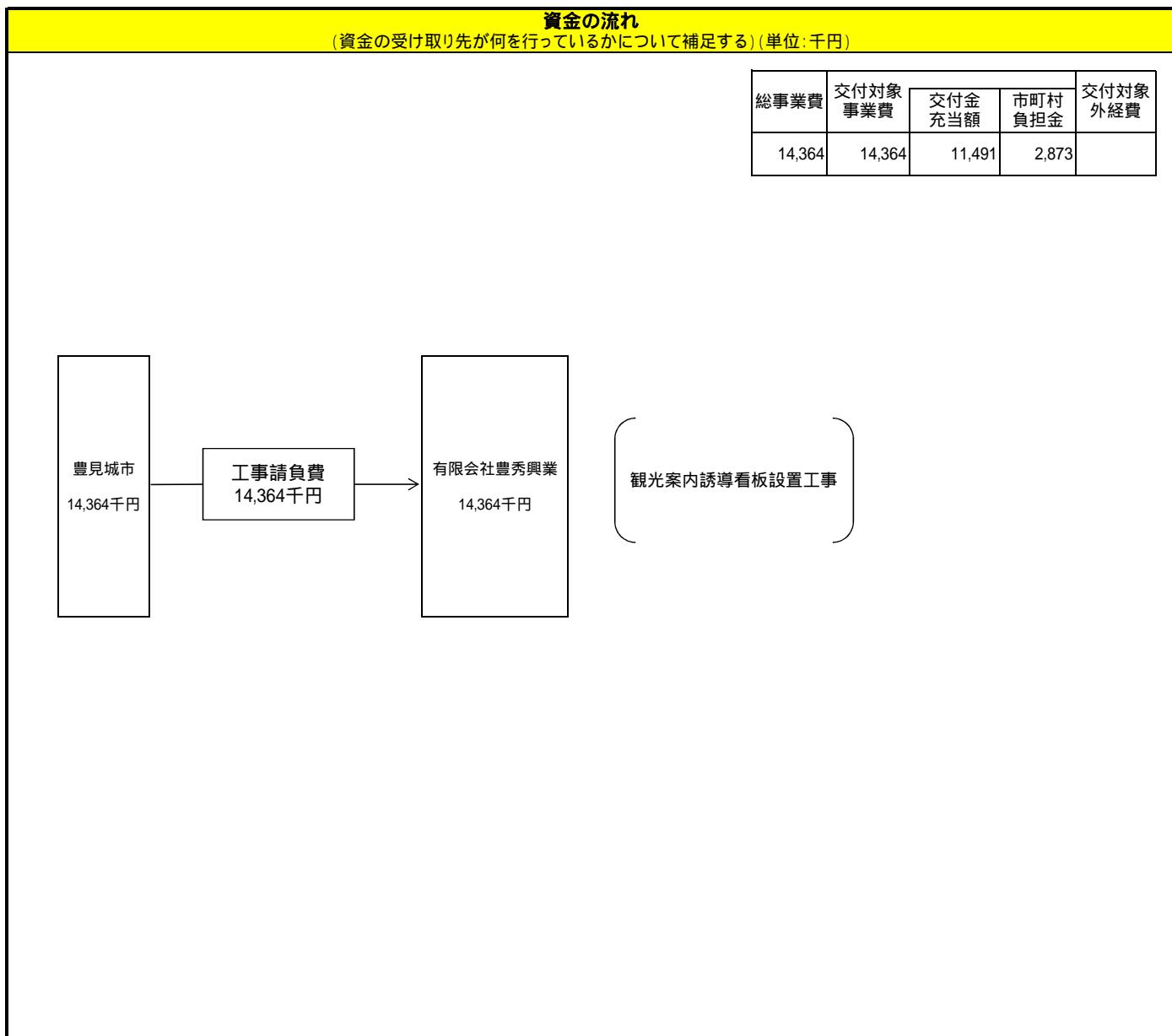
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)		
	バス停上屋設置整備にあたり、関係者との調整に日数を要したことで繰り越し事業となった。また、当該地域が沖縄県が指定する「観光振興地域指定地域であることから景観を重視して、整備予定区間の4地点(2対・8基)の設置整備を予定していたが、1地点(1基)が助成事業(事業実施主体:バス協会)による設置であったため、その箇所を除いた7基整備となった。			
今後の取り組み方針				
将来のバス停増減の可能性も含め、今回整備した箇所以外の豊見城市内一周路線上におけるバス停にも上屋を設置するか検討する。				



資金途の流れ 点れ 評費 価目	評価	点検項目	評価に関する説明
		支出先の選定方法は妥当か。	
		予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	委託事業者及び工事請負業者とも指名業者選定から指名競争入札を行っており、妥当であったと考えている。
-		受益者との負担関係は妥当であるか。	費目・使途については、事業目的達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。
		費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	豊見城市							
平成24年度(繰越)沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】								
事業番号 ・事業名	1 -	観光案内サイン整備事業			沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第3章 - 3 - (2) - ウ 世界水準の観光リゾート地の形成		
担当部課名	企画部 商工観光課		事業実施 (予定)年度	平成24年度	沖縄振興基本方針 該当箇所	- 1 - (1)		
事業内容	市内に点在する観光施設や名所等、拠点間を有機的に結びつけるため、外国人観光客を含むすべての方々にわかりやすい案内サインを整備し、観光地としての利便性を高める。							
実施方法	直接実施	委託	補助	負担	その他 ()			
予算額・ 執行額 【単位:千円】 (「交付金」+ 「市町村負担」 ベース)		24年度	24年度(繰越)	25年度	26年度	27年度		
	予算の状況	(a)当初予算額	15,960	-				
		(b)予算現額	14,364	-				
		(c)増減額(b-a)	1,596	-				
		(d)繰越額	-	8,619				
		A.計(b+d)	14,364	8,619				
		B.執行済額	5,745	8,619				
		うち交付金充当額	4,596	6,895				
		次年度繰越額	8,619					
		執行率(%) (B/A)	40.0%	100.0%				
予算の状況の説明	入札残により、1,596千円の減額補正を行った。 観光案内サインの事業実施にあたって、観光事業者などから認知向上や設置に関する安全確保の観点から、設置位置や構造等の再検討を求める意見があり、その対応に不測の日数を要したため、繰越とした。							
活動目標 (指標) 及び達成状況	H24活動目標(指標)		達成状況					
			24年度	25年度	26年度	27年度		
	案内サイン設置 6箇所		目標 (6箇所)	()	()	()		
			実績	6箇所				
			目標 ()	()	()	()		
達成状況説明	利活用の頻度向上を目的に設置箇所を検討し、市内観光施設等に6箇所に案内サイン(歩行者用、車両用)を設置した。							
成果目標 (指標) 及び進捗状況	H24成果目標(指標)		基準値 (年度)	24年度	25年度	26年度	目標値 (年度)	
	案内サイン設置 6箇所		目標 ()	(6箇所)	()	()	()	
			実績	6箇所				
	[参考指標]		目標 ()	()	()	()	()	
			実績					
進捗状況説明	利活用の頻度向上を目的に設置箇所を検討し、市内観光施設等に6箇所に案内サイン(歩行者用、車両用)を設置し、観光地としての利便性を高めた。							

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<ul style="list-style-type: none"> ・設置箇所においては、歩行者の安全確保や見えやすさなどを考慮し、設置箇所を検討した結果、工期が延長した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・設置箇所の環境整備(防草対策、防錆対策)を行い、利活用しやすい環境維持を図る。
今後の取り組み方針		
<ul style="list-style-type: none"> ・今後の外国人観光客などの動向を注視し、追加言語の必要性などを検討する。 		



資金途の流れ検査評価項目	評価	点検項目	評価に関する説明
		支出先の選定方法は妥当か。	
		予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
-		受益者との負担関係は妥当であるか。	工事請負業者は、指名競争入札方式により選定しており、妥当であったと考えている。
		費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

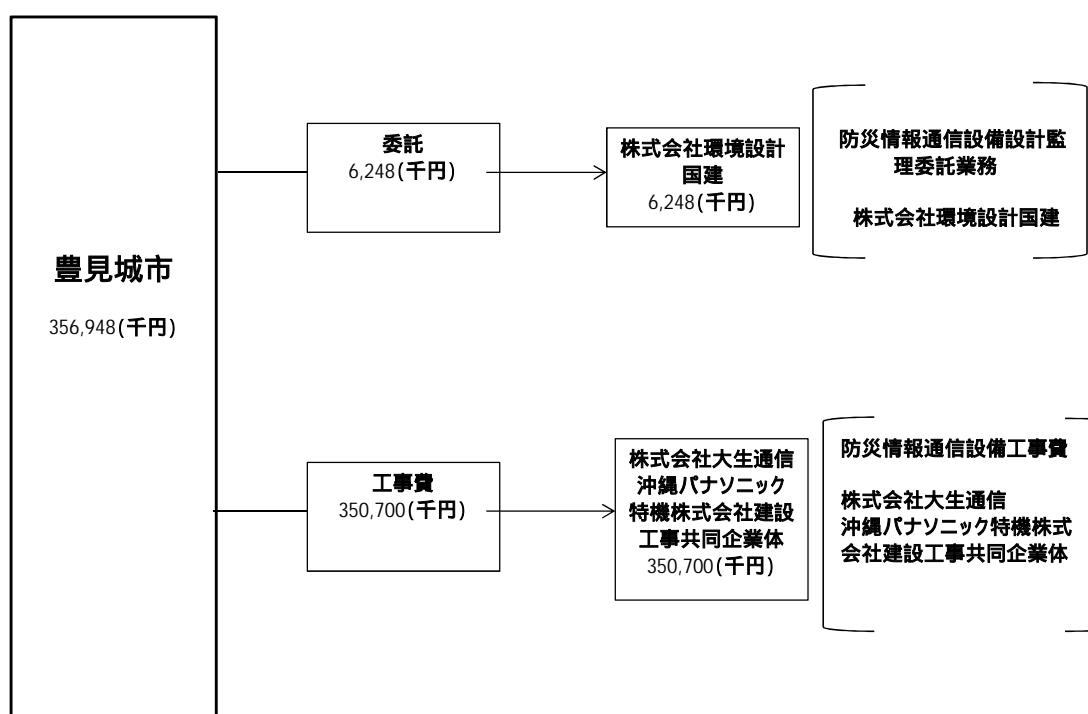
市町村名	豊見城市						
平成24年度(繰越)沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号 ・事業名	2-	防災情報通信設備整備事業			沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第3章-2-(4)-イ 社会リスクセーフティーネットの確立	
担当部課名	総務部 総務課		事業実施 (予定)年度	平成24~27年度	沖縄振興基本方針 該当箇所	-10-(2)	
事業内容	市庁舎と市内沿岸部地域とを無線システムで結び、屋外拡声装置を取り付けた防災無線子局を当該地域に設置して防災無線システムを構築する。						
実施方法	直接実施 委託 補助 負担 その他 ()						
予算額・ 執行額 【単位:千円】 (「交付金」+ 「市町村負担」 ベース)		24年度	24年度(繰越)	25年度	26年度	27年度	
	予算の状況	(a)当初予算額	377,380	-			
		(b)予算現額	356,947	-			
		(c)増減額(b-a)	20,433	-			
		(d)繰越額	-	216,668			
		A.計(b+d)	356,947	216,668			
		B.執行済額	140,280	216,668			
		うち交付金充当額	112,224	173,334			
		次年度繰越額	216,667				
		執行率(%) (B/A)	39.3%	100.0%			
予算の状況の説明	入札残により、20,433千円の減額補正を行った。 防災情報無線システムを自治会施設へ連結するにあたり、当初、各自治会施設への既存アンプを使用し連結する予定であったが、多数の自治会アンプが連結することが不明な旧式アンプであったため、各メーカーへの調査調整等に不測の日数を要したので繰越しを行った。						
活動目標 (指標) 及び達成状況	H24活動目標(指標)		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	防災無線等の整備箇所数		目標 (90箇所)	(95箇所)	(97箇所)		
			実績 市内90箇所				
			目標) ()	()	()		
実績							
達成状況説明	市内90箇所(保育園13箇所、幼・小中学校16箇所、自治会施設47箇所、公共施設14箇所)において防災無線等の設備を設置した。また、既存の防災行政無線(21箇所)とも連携を行えるようにした。						
成果目標 (指標) 及び進捗状況	H24成果目標(指標)		基準値 (23年度)	24年度	25年度	26年度	目標値 (27年度)
	防災無線の自治会カバー数		目標 (17自治会)	(47自治会)	()	()	
			実績	47自治会			
			目標 ()	()	()	()	
			実績				
進捗状況説明	目標どおり、自治会公民館等に防災無線情報無線システムを整備した。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<ul style="list-style-type: none"> 市内自治会施設47箇所及び各公共機関等に、防災無線システムを整備することで、市内の広範囲に防災・国民保護情報を伝達することができるようになった。 今後、建替え及び新築等については随時整備を行う。 	

今後の取り組み方針

- 今後、施設立替等のため、工事を行えなかった施設への新規工事を行い、本市における無線システムの整備率を平成27年度に100%にする。
- 今後、本市防災情報通信設備を活用し、緊急時には確実に市民や観光客に対して、確実に災害・国民保護情報を確実に放送が行き渡るようにする。また、防災訓練等を通して災害時に適切な行動をとれるようにする。

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)				
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
356,948	356,948	285,558	71,390	



資金途の流れ 点れ 評費 値目	評価	点検項目	評価に関する説明
		支出先の選定方法は妥当か。	
		予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	・委託業務及び工事請負業者の選定については、本市入札審査会により企業組織、免許、実績を考慮して選定しており、妥当であったと考えている。
-		受益者との負担関係は妥当であるか。	・費目・使途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等について確認、適正であった。
		費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

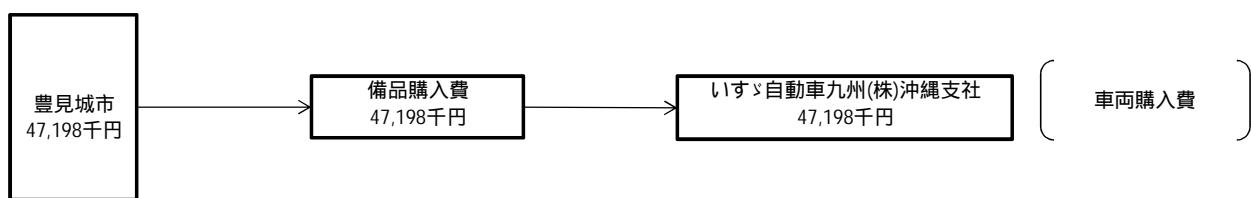
市町村名	豊見城市						
平成24年度(繰越)沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号 ・事業名	2-	水難救助車整備事業			沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第3章-2-(4)-1 社会リスクセーフティーネットの確立	
担当部課名	消防本部 総務課		事業実施 (予定)年度	平成24年度	沖縄振興基本方針 該当箇所	-10-(2)	
事業内容	各種水難救助用の資機材とクレーンや救助ボート等を装備するとともに、車内でウェットスーツに着替えるスペースを確保することで、出動指令で潜水士免許既得車者や水難救助訓練を積んだ隊員が迅速に出動できる体制を整備する。						
実施方法	直接実施 委託 補助 負担 その他 ()						
予算額・ 執行額 【単位:千円】 (「交付金」+ 「市町村負担」 ベース)		24年度	24年度(繰越)	25年度	26年度	27年度	
	予算の状況	(a)当初予算額	47,218	-			
		(b)予算現額	47,199	-			
		(c)増減額(b-a)	19	-			
		(d)繰越額	-	47,199			
		A.計(b+d)	47,199	47,199			
		B.執行済額		47,198			
		うち交付金充当額		37,758			
		次年度繰越額	47,199				
		執行率(%) (B/A)		100.0%			
予算の状況の説明	入札残により、19千円の減額補正を行った。 現地条件に合わせた車輌構造の細部の調整が必要となり、その調整に不測の日数を要したため、繰越とした。						
活動目標 (指標) 及び達成状況	H24活動目標(指標)		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	水難救助車等整備		目標 (1台)	()	()	()	
			実績	1台			
			目標 ()	()	()	()	
			実績				
達成状況説明	これまで水難救助災害発生時、消防署内において、救助用ボート、水難救助資機材等の準備、ウェットスーツに着替える等、出動に時間を要していたが、各種水難救助用資機材やクレーン、救助ボート等を車両に装備するとともに、車内で着替えるスペースを確保する事で、水難救助訓練を積んだ救助隊員の迅速な出動が可能になった。						
成果目標 (指標) 及び進捗状況	H24成果目標(指標)		基準値 (年度)	24年度	25年度	26年度	目標値 (年度)
	水難救助車等整備		目標 (0台)	(1台)	()	()	()
			実績	1台			
	[参考指標]		目標 ()	()	()	()	()
			実績				
	進捗状況説明	平成24年度末に水難救助車を整備、本格運用は各種資機材、車両等の取扱い訓練終了後、7月より運用開始。水難救助車整備後ににおける、平成25年度の消防署の水難救助訓練では、各班最低2回実施、今後においても確実に訓練回数の増加及び質の向上が見込まれる。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	水難事故に關し裝備を備えた水難救助車の機動力を發揮できるように訓練を行っている。水難救助用の資機材とクレーンや救助ポート等裝備点検を毎日実施している。	毎日の始業前点検に不備があると、海や川への出動後の救助活動に際し、重大な事故につながる恐れがあることから、始業時点検マニュアルの作成と訓練マニュアルの作成が必要である。

資金の流れ

(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象 事業費			交付対象 外経費
		交付金 充当額	市町村 負担金	
47,198	47,198	37,758	9,440	



資金 使途の流 点れ、 検査評 価目	評価	点検項目	評価に関する説明
		支出先の選定方法は妥当か。	
		予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	市指名委員会により業者選定を行い、入札により相手方を決定している。
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	費目・使途については支出等に関する書類により確認適正であった。
		費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

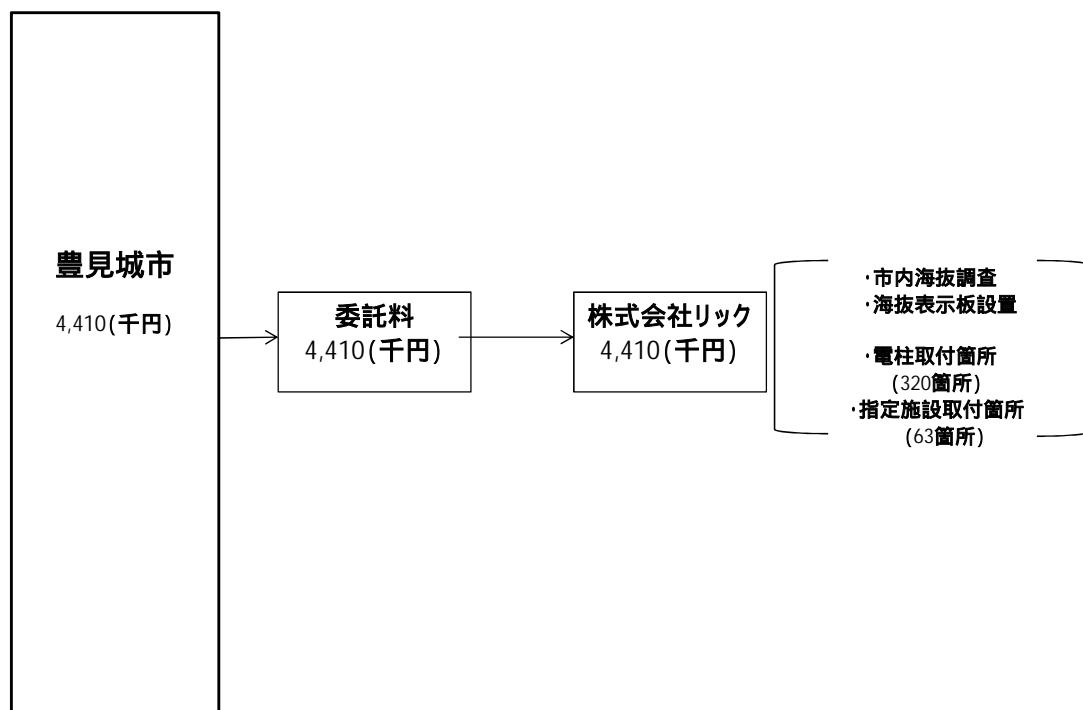
市町村名	豊見城市						
平成24年度(繰越)沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号 ・事業名	2-	海拔表示板設置事業			沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第3章-2-(4)-イ 社会リスクセーフティーネットの確立	
担当部課名	総務部 総務課		事業実施 (予定)年度	平成24年度	沖縄振興基本方針 該当箇所	-10-(2)	
事業内容	地域住民を含めた市内滞在者、とりわけ地理に不案内の観光客が、津波発生時に現在位置に関する情報を容易に確認し、迅速に非難・安全確保できるよう、海拔5メートル以下の地域を中心に電柱等に海拔表示看板を設置する。						
実施方法	直接実施	委託	補助	負担	その他()		
予算額・ 執行額 【単位:千円】 (「交付金」+ 「市町村負担」 ベース)		24年度	24年度(繰越)	25年度	26年度	27年度	
	予算の状況	(a)当初予算額	6,195	-			
		(b)予算現額	4,410	-			
		(c)増減額(b-a)	1,785	-			
		(d)繰越額	-	4,410			
		A.計(b+d)	4,410	4,410			
		B.執行済額		4,410			
		うち交付金充当額		3,528			
		次年度繰越額	4,410				
		執行率(%) (B/A)		100.0%			
予算の状況の説明	入札残により、1,785千円の減額補正を行った。 海拔表示板を設置するにあたり、設置場所の選定について、役所(案)の設置場所と地域住民の要望設置場所の選定を行うために不測の日数を要したため繰越しを行った。						
活動目標 (指標) 及び達成状況	H24活動目標(指標)		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	沿岸部及び指定避難所、自治会公民館への海拔表示案内板設置(383箇所)		目標 (市内383箇所)	()	()	()	
			実績 市内383箇所				
			目標 ()	()	()	()	
達成状況説明	当初の目標どおり、市内沿岸部、指定避難所、自治会公民館に海拔表示看板を設置した。						
成果目標 (指標) 及び進捗状況	H24成果目標(指標)		基準値 (年度)	24年度	25年度	26年度	目標値 (年度)
	沿岸部及び指定避難所、自治会公民館への海拔表示案内板設置(383箇所)		目標 () (市内383箇所)	()	()	()	
	[参考指標]		実績 市内383箇所				
			目標 () () () () ()				
	進捗状況説明	市内沿岸部、指定避難所、自治会公民館に海拔表示看板を設置したことにより、津波発生時の迅速な避難・安全確保に繋げることができる。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>市内沿岸部、指定避難所、自治会公民館に海拔表示板を設置したことにより、市民及び観光客の津波発生時の避難の目安となり、防災意識の高揚がはかられた。</p> <p>なお、設置箇所の選定については、自治会と相談し、交通量の多い所や周知すべき場所を相談しながら決定した。</p> <p>今後は、問い合わせ及び要望が多い箇所がある場合には、新規設置について、今後検討していきたい。</p>	当初計画した地域への設置は完了したため、特に改善点は無い。

今後の取り組み方針

本市のハザードマップと組み合わせながら、市民及び観光客の防災意識の啓発に努めていきたい。

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)				
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
4,410	4,410	3,528	882	



資金途の流れ 点れ 評費 価目	評価	点検項目	評価に関する説明
	支出先の選定方法は妥当か。		
	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。		
-	受益者との負担関係は妥当であるか。		
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		

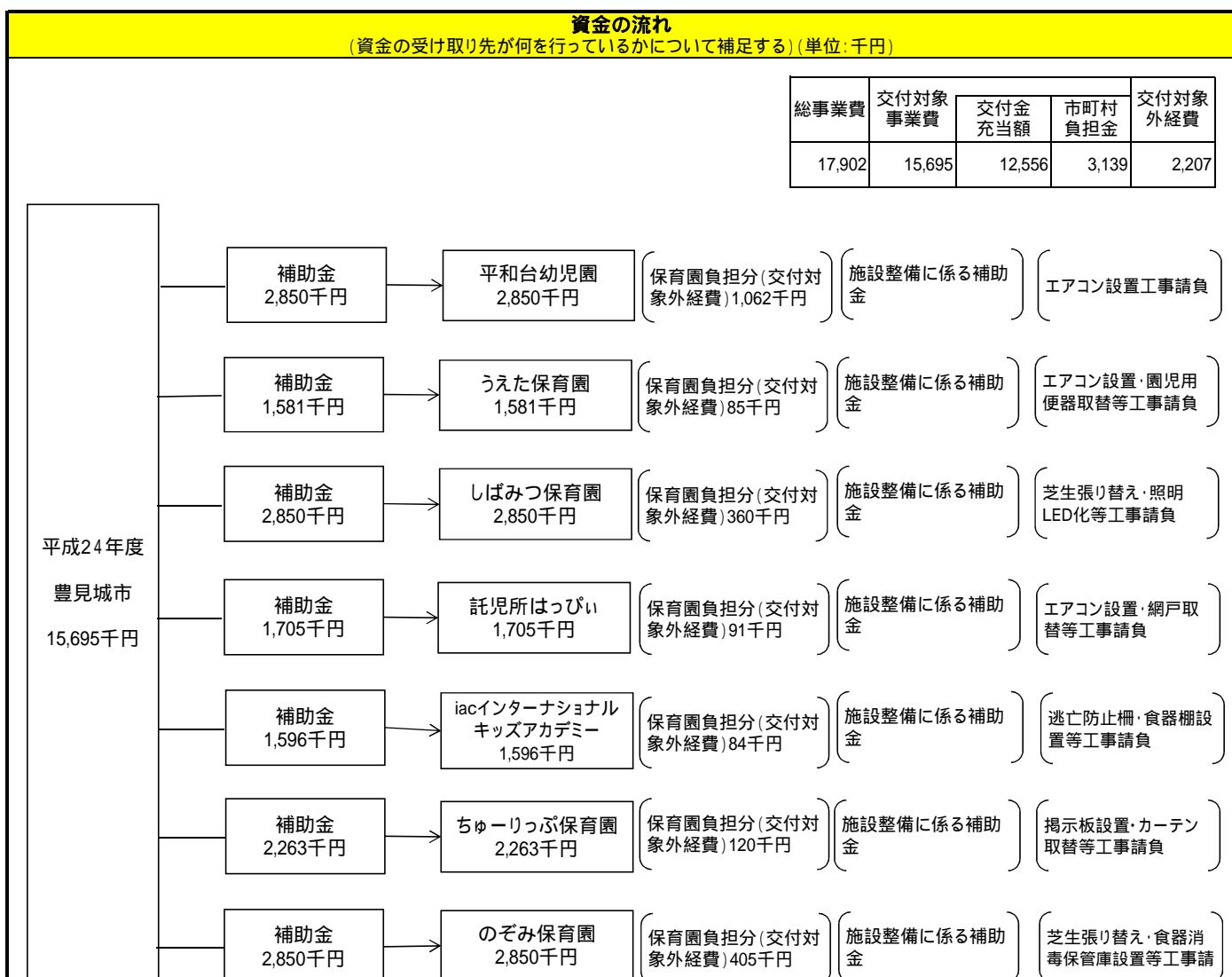
The evaluation table contains four rows. The first three rows correspond to the points listed in the header. The fourth row is a general catch-all for any other relevant evaluations.

市町村名	豊見城市							
平成24年度(繰越)沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】								
事業番号 ・事業名	4 -	認可外保育園環境整備事業			沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第3章 - 2 - (2) - イ		
担当部課名	福祉部 児童家庭課		事業実施 (予定)年度	平成24~26年度	沖縄振興基本方針 該当箇所	子育てセーフティネットの充実 - 4		
事業内容	子育て世代の人口増に伴い、待機児童数の増加が課題になっていることから、待機児童解消の一躍を担っている認可外保育園の施設整備(修繕等)を図ることで、児童の保育環境向上に寄与する。							
実施方法	直接実施	委託	補助	負担	その他 ()			
予算額・ 執行額 【単位:千円】 (「交付金」+ 「市町村負担」 ベース)		24年度	24年度(繰越)	25年度	26年度	27年度		
	予算の状況	(a)当初予算額	25,650	-				
		(b)予算現額	20,000	-				
		(c)増減額(b-a)	5,650	-				
		(d)繰越額	-	20,000				
		A. 計(b+d)	20,000	20,000				
		B. 執行済額		15,695				
		うち交付金充当額		12,556				
		次年度繰越額	20,000					
		執行率(%) (B/A)		78.5%				
予算の状況の説明	<ul style="list-style-type: none"> 事業を実施する保育園が12園から8園に減ったため、5,650千円の減額補正を行った。 事業実施の準備及び保育園との調整に不測の時間を要したため、次年度に繰越した。 24年度(繰越)で不要額が4,305千円発生しているが、事業主(認可外保育園)が実施した入札の入札残によるものと事業取り下げがあったため、当初計画していた事業内容の変更を余儀なくされたが、計画は概ね実施した他、活動目標、成果目標の達成状況を鑑みて適正であったと考えている。 							
活動目標 (指標) 及び達成状況	H24活動目標(指標)		達成状況					
			24年度	25年度	26年度	27年度		
	認可外保育園環境整備事業導入園		目標	(12園)	()	()	()	
			実績	7園				
			目標	()	()	()	()	
			実績					
	達成状況説明	<ul style="list-style-type: none"> 事業導入希望している認可外保育園と、施設整備内容について保護者からの要望があり、その調整や内容変更等があり、その調整に不測の日数を要したため、次年度に繰り越した。 当初予定していた保育園数は12園だったが、事業内容を精査したところ、事業内容が合わず、4園が申請前に辞退した。 24年度(繰越)で事業実施を希望した8園中7園で環境整備を行った。1園については、家主の同意が得られず、事業取り下げとなった。 						
	成果目標 (指標) 及び進捗状況	H24成果目標(指標)		基準値 (年度)	24年度	25年度	26年度	目標値 (年度)
		認可外保育園環境整備実施園		目標	(-)	(12園)	()	()
実績					7園			
[参考指標]		目標	()	()	()	()		
		実績						
進捗状況説明		認可外保育園施設の保育環境整備を行ったことにより、入所児童の健全育成の促進、保育の質の向上を図ることができた。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	認可外保育園の殆どが賃貸物件での保育園経営をしており、事業内容や日程などの調整が難航したため、実施することができなかった。	今後は、関係者との調整を円滑に進め、事業を早急に進めるとともに、保育環境の改善について早急に検討を行う。

今後の取り組み方針

今後は、事業を引き続き実施していくとともに、家主や保護者、認可外保育園に周知することにより、事業導入保育園を確保し、調整を行い、円滑に事業を実施していく。



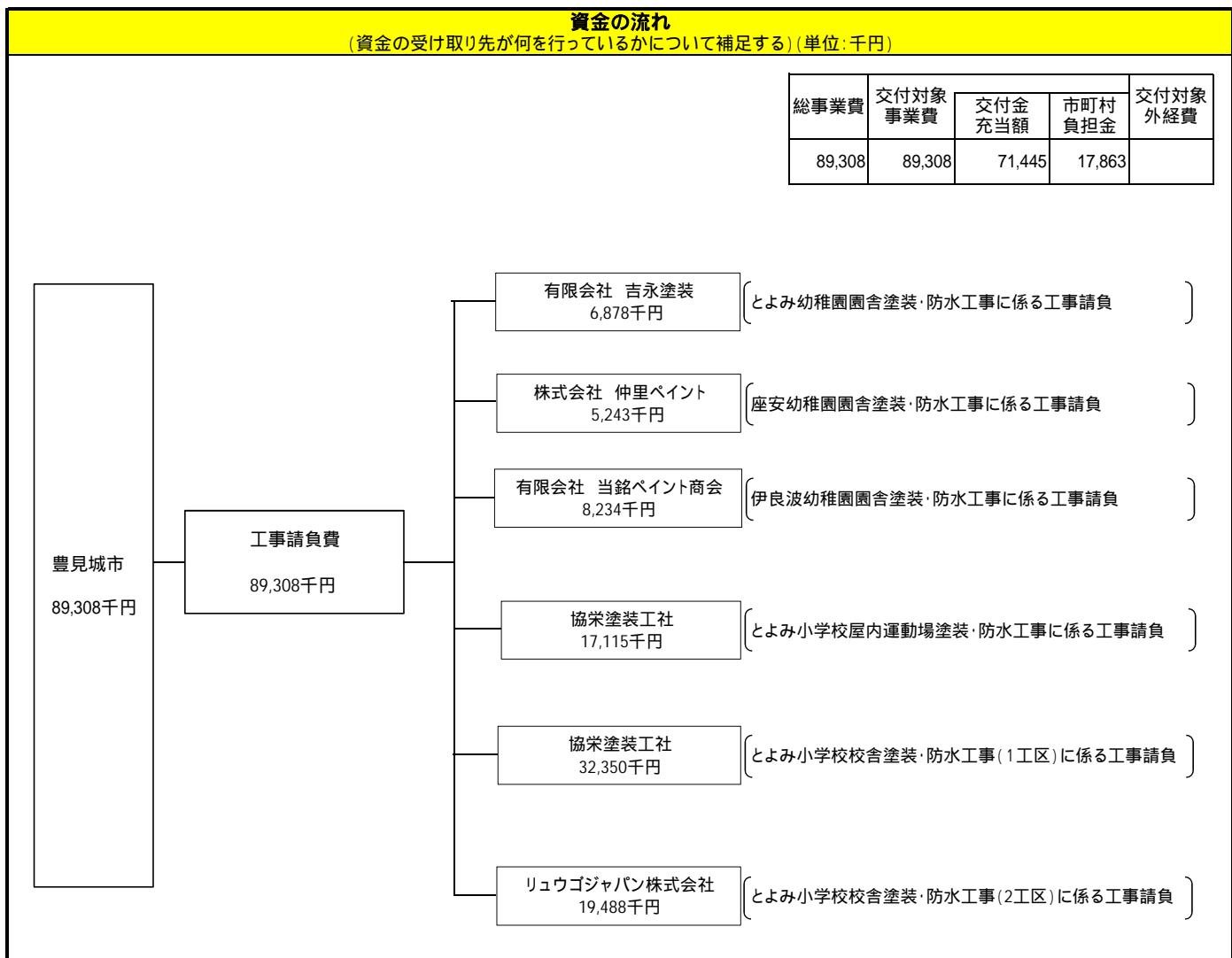
資金途の流れ 点れ 評費 価目	評価	点検項目		評価に関する説明
		点検項目	評価	
	支出先の選定方法は妥当か。			補助金交付決定者は、事業内容等を精査した上で決定しており、妥当であったと考えている。
	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。			補助金の使途については、事業目的達成の観点から必要なもの等について申請時ににおいて支出等に関する書類により確認、適正であった。
	受益者との負担関係は妥当であるか。			補助は交付要綱に沿って行っており、補助金支給額及び受益者との負担関係並びに事業目的における費目・使途は適正と考えている。
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。			

市町村名	豊見城市						
平成24年度(繰越)沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号 ・事業名	5-	幼小中学校長寿命化事業			沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第3章-5-(3)-ウ 自ら学ぶ意欲を育む教育の充実	
担当部課名	学校教育部学校施設課		事業実施 (予定)年度	平成24~25年度	沖縄振興基本方針 該当箇所	-3-(1)	
事業内容	沖縄特有の潮風による塩害や紫外線、度重なる台風の影響により劣化した校舎屋根や壁面等を改修することにより、安全・安心を確保し校舎の断熱など機能を向上させるとともに長寿命化を図り、学習環境の向上を図る。						
実施方法	直接実施	委託	補助	負担	その他()		
予算額・ 執行額 【単位:千円】 (「交付金」+ 「市町村負担」 ベース)		24年度	24年度(繰越)	25年度	26年度	27年度	
	予算の状況	(a)当初予算額	126,558	-			
		(b)予算現額	126,558	-			
		(c)増減額(b-a)		-			
		(d)繰越額	-	99,358			
		A.計(b+d)	126,558	99,358			
		B.執行済額	27,200	62,108			
		うち交付金充当額	21,759	49,686			
		次年度繰越額	99,358				
		執行率(%) (B/A)	21.5%	62.5%			
予算の状況の説明	入札の執行残により、予算との差額が生じている。 予算繰越理由 とよみ小学校校舎の塗装・防水工事を、児童生徒の安全管理を考慮し予算を繰越して夏休み期間に施工した。						
活動目標 (指標) 及び達成状況	H24活動目標(指標)		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	長寿命化等の安全対策を実施した校舎数 幼稚園:3校 小学校:1校		目標 (幼稚園:3校 小学校:1校)	() () () ()			
			実績 幼稚園:3校 小学校:1校				
			目標 () () () ()				
			実績				
達成状況説明	平成24年度予定していた幼小中学校長寿命化事業を実施することができた。						
成果目標 (指標) 及び進捗状況	H24成果目標(指標)		基準値 (年度)	24年度	25年度	26年度	目標値 (年度)
	長寿命化等の安全対策を実施した校舎数 幼稚園:3校 小学校:1校		目標 () (幼稚園:3校 小学校:1校)	() () () ()			
			実績 幼稚園:3校 小学校:1校				
	[参考指標]		目標 () () () ()				
			実績				
	進捗状況説明	幼稚園及び小学校の外壁や屋根の改修工事を行うことで、学校施設の長寿命化につながり、児童生徒が安全で安心な学習環境を保つことができた。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	塗装工事の際に、足場などを設置する必要があるため、児童・生徒の移動及び学校行事に影響が生じる。	児童・生徒の学習活動などに支障が出ないよう、工事実施時期を検討する必要がある。

今後の取り組み方針

早期に工事計画をまとめ、学校側との工事実施時期を調整し事業を円滑に進めていきたい。



資金 途 の 流 れ 点 れ 査 評 費 價 目 ・	評価	点検項目	評価に関する説明
		支出先の選定方法は妥当か。	市指名委員会により業者選定を行い、入札により相手方を決定している。
		予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
-	受益者との負担関係は妥当であるか。		費目・使途については、事業目的にあった支出である。
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		

市町村名	豊見城市						
平成24年度(繰越)沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号 ・事業名	6-	豊見城市内文化財説明板設置事業			沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第3章 1 (5)-ア	
担当部課名	生涯学習部 文化課		事業実施 (予定)年度	平成24~27年度	沖縄振興基本方針 該当箇所	文化産業の戦略的な創出・育成 -3-(2)	
事業内容	本市に存する文化財を始めとする歴史資源の説明板を設置し、それらに対する地域住民等の理解・関心を深め、保全・継承を促すとともに、新たな文化、観光資源として活用を目指す。						
実施方法	直接実施 委託 補助 負担 その他 ()						
予算額・ 執行額 【単位:千円】 (「交付金」+ 「市町村負担」 ベース)		24年度	24年度(繰越)	25年度	26年度	27年度	
	予算の状況	(a)当初予算額	3,990	-			
		(b)予算現額	3,990	-			
		(c)増減額(b-a)		-			
		(d)繰越額		3,990			
		A.計(b+d)	3,990	3,990			
		B.執行済額		3,354			
		うち交付金充当額		2,683			
		次年度繰越額	3,990				
		執行率(%) (B/A)		84.1%			
予算の状況の説明	・繰越については、説明板の説明内容及び設置場所等の選定にあたり、有識者から記述の拡充や設置箇所の検討等を求める意見があり、その調整に不測の日数を要したためである。 ・不要額が636千円発生しているが、委託費の入札残による契約額の減である。						
活動目標 (指標) 及び達成状況	H24活動目標(指標)		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	市内文化財説明板設置件数		目標 (5基)	()	()	()	
			実績 5基				
			目標 ()	()	()	()	
達成状況説明	市民に文化財等への理解・関心を深め、保全・継承を促すことを目的に文化財説明板を設置した。平成24年度は、龜屋と龜ゴウ祭り(字高安)・嘉数バント(字嘉数)・瀬長島(字瀬長)・長嶺グスク(字嘉数)・保栄茂グスク(字保栄茂)の5基の設置が完了し、平成24年度の目標数を達成した。						
成果目標 (指標) 及び進捗状況	H24成果目標(指標)		基準値 (年度)	24年度	25年度	26年度	目標値 (年度)
	市内文化財説明板設置件数		目標 ()	(5基)	()	()	()
			実績	5基			
			目標 ()	()	()	()	()
			実績				
進捗状況説明	文化財説明板の設置は当初計画の目標値を達成している。説明板設置によって当該文化財等の詳細な情報の周知が可能となった。そのことで「地域学習」や「地域づくり」「観光振興」にも寄与し、市の文化・歴史の発信につながっている。						

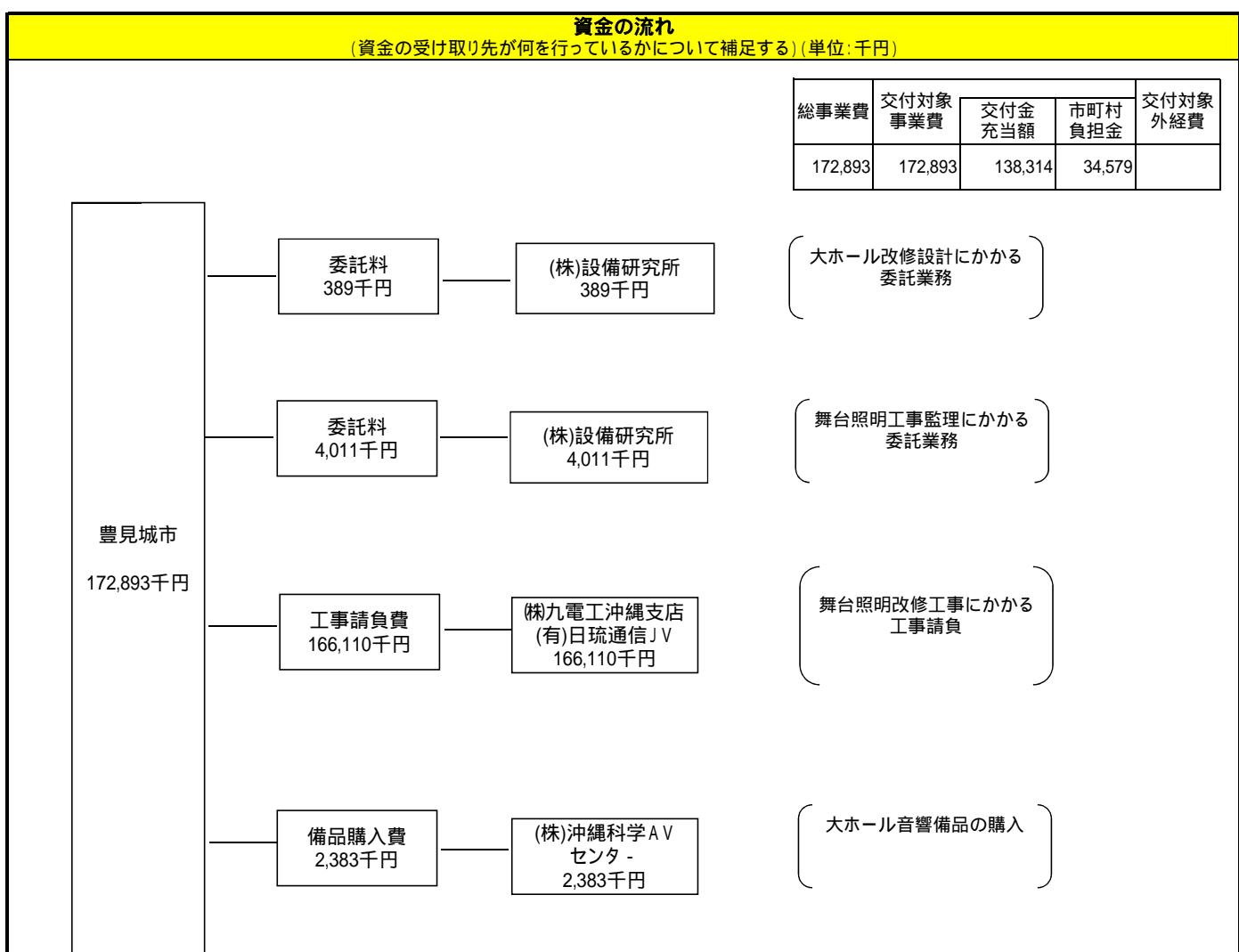
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<ul style="list-style-type: none"> ・文化財説明板の設置最終目標数は20基で設定しており、今年度で5基設置完了した事で全体の25%を完了した。 ・市内に数ある文化財の中から、文化財保護に対する意識高揚の寄与が期待できる文化財を優先的に選定し、説明板を設置した。 ・説明板を設置した文化財の所在地を広報する必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域に存する文化財を始めとする歴史資源を次代へ正しく、そして身近な存在として継承していくためにも、文化財説明板の持続的設置と適切な説明表示を行っていく。また、説明板を設置した文化財の所在地を周知する広報活動が必要である。
今後の取り組み方針		
<ul style="list-style-type: none"> ・年次計画をもって、文化財説明板の設置を進めていく。 ・設置する文化財等の選定や地権者や地域との調整、説明文作成等を早期に着手して事業を進めていく。 ・説明板を設置した文化財等を巡る文化講座の開催や市報やホームページ等を通じて市民に周知を図る。 		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)					
資金の流れ 評価項目	資金の流れ				
	総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
	3,354	3,354	2,683	671	
豊見城市 3,354千円	委託料 3,354千円	(株)アドプロ 3,354千円			市内文化財説明板設置にかかる委託業務

資金の流れ 評価項目	評価	点検項目	評価に関する説明
		支出先の選定方法は妥当か。	
		予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
-		受益者との負担関係は妥当であるか。	委託事業者は、指名競争入札方式によって適切に選定しており、妥当であったと考えている。
		費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	豊見城市						
平成24年度(繰越)沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号 ・事業名	6 -	文化交流拠点整備事業			沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第3章 - 1 - (4) - ウ 伝統文化の保全・継承及び新たな文化の創造	
担当部課名	生涯学習部 生涯学習振興課		事業実施 (予定)年度	平成24年度	沖縄振興基本方針 該当箇所	- 3 - (2)	
事業内容	伝統文化・芸能イベント等においてデジタル化等、新たな技術による高度で効果的な演出ができる拠点施設として照明設備等を更新し、文化活動を支援するとともに、文化交流活動の促進を促す。						
実施方法	直接実施	委託	補助	負担	その他()		
予算額・ 執行額 【単位:千円】 (「交付金」+ 「市町村負担」 ベース)		24年度	24年度(繰越)	25年度	26年度	27年度	
	予算の状況	(a)当初予算額	196,529	-			
		(b)予算現額	172,894	-			
		(c)増減額(b-a)	23,635	-			
		(d)繰越額	-	103,677			
		A.計(b+d)	172,894	103,677			
		B.執行済額	69,216	103,677			
		うち交付金充当額	55,373	82,941			
		次年度繰越額	103,677				
		執行率(%) (B/A)	40.0%	100.0%			
予算の状況の説明	入札に伴う見積価格の減等により、23,635千円の減額補正を行った。 舞台照明等を整備するにあたり、大ホールを閉鎖する必要があるが、利用団体等から施工時期に関する要望があり、その調整に不測の日数を要したため、次年度繰越事業となった。						
活動目標 (指標) 及び達成状況	H24活動目標(指標)		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	拠点施設(中央公民館大ホール)における 照明及び音響設備の整備		目標 (照明及び音響 設備の整備)	()	()	()	
			実績 照明及び音響設備の 整備				
			目標 ()	()	()	()	
			実績				
達成状況説明	伝統文化・芸能イベント等においてデジタル化等、新たな技術による高度で効果的な演出ができるようになったことを、市中央公民館利用団体等へ「お披露目会」を開催し、文化活動の活性化を促した。						
成果目標 (指標) 及び進捗状況	H24成果目標(指標)		基準値 (年度)	24年度	25年度	26年度	目標値 (年度)
	拠点施設(中央公民館大ホール)における 照明及び音響設備の整備		目標 ()	照明及び 音響設備 の整備	()	()	()
			実績	照明及び音響設備 の整備			
	[参考指標]		目標 ()	()	()	()	()
			実績				
	進捗状況説明	伝統文化・芸能イベント等においてデジタル化等、新たな技術による高度で効果的な演出を生かし、文化活動を支援するとともに、文化交流活動の促進を図ることを目的に、新規事業として日頃、中央公民館でサーカス活動(琉球舞踊や三線等)を学習した成果を発表することを目的に「第1回サーカスマツリ」を開催した。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)		
	文化交流拠点施設として、沖縄文化(琉球舞踊・三線等)関係団体と連携し、事業計画の支援を行う。その事業の一つとして「全沖縄子どもエイサ - 祭り」や「豊見城青年祭り」等社会教育団体の事業が活性化するよう推進していく。			
今後の取り組み方針				
伝統文化・芸能イベント等においてデジタル化等、新たな技術による高度で効果的な演出ができるようになったことを市民への広報活動として、パンフレットを作成し、今後の活動が活性化するよう促す。				



資金途の流れ 点れ 評費 値目	評価	点検項目	評価に関する説明
		支出先の選定方法は妥当か。	
		予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	委託業者及び工事請負業者は指名競争入札で選定しており、妥当であったと考えている。
-		受益者との負担関係は妥当であるか。	事業目的達成に適した使途の支出であったと考えている。
		費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	